

テーマ		2	産業・活力			
創造戦略		4	札幌型産業創造戦略 ～新たな価値の創造による産業の高度化～			
「成果指標」実績値の推移に係る検証と今後の取組		(現状値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	----->	34年度 (目標値)
4-① 食の魅力を生かした産業の高度化						
20	食料品製造業の製造品出荷額等	2,053億円 (22年度)	【参考】 2,109億円 (24年度)	【参考】 2,150億円 (25年度)		2,400億円 (34年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 実績値は横ばいとなっているが、「畜産食料品」や「精穀・製粉業」、「パン・菓子」の出荷額は増加している。 今後とも引き続き、各機関と連携を図りながら、出荷拡大に向けた製品開発や販路拡大等の取組に対する支援を進めていく。 					
21	食料品製造業の粗付加価値額	782億円 (22年度)	【参考】 897億円 (24年度)	【参考】 889億円 (25年度)		940億円 (34年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 実績値は横ばいで推移しており、「畜産食料品」や「精穀・製粉業」、「パン・菓子」の出荷額が増加している一方、それに伴う高付加価値化が進んでいないことがうかがえる。 今後とも引き続き、各機関と連携を図りながら、製品の高付加価値化に資する製品開発や販路拡大等の取組に対する支援を進めていく。 					
4-② 魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進						
22	観光地としての総合満足度(「満足」と回答した人の割合)	27% (24年度)	21.9% (25年度)	23.0% (26年度)		40% (34年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 実績値は横ばいとなっているが、各観光スポットにおける取組などが、観光客に好印象を与えていると考えられる。 今後とも引き続き、雪まつりやオータムフェストなどの観光イベントや、定山溪、すすきのなど集客交流拠点の更なる魅力アップを図っていく。 					
23	札幌市内での総観光消費額	3,743億円 (24年度)	4,034億円 (25年度)	4,293億円 (26年度)		4,700億円 (34年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 実績値は上昇しており、外国人の本市平均滞在日数の増加に伴う観光客1人当たりの消費額が上昇など、外国人分の増加が要因となっていると考えられる。 今後とも引き続き、アジア各国への誘客プロモーションを強化することに加え、Wi-Fi環境の充実や観光情報の発信力強化など受入体制改善に取り組んでいく。 					
24	年間来客数	1,304万人 (24年度)	1,356万人 (25年度)	1,342万人 (26年度)		1,500万人 (34年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 実績値は横ばいとなり、外国人観光客は増加しているものの、消費増税や貸切バス料金の高騰など観光環境の変化が影響していると考えられる。 今後とも引き続き、アジア各国への誘客プロモーションを強化することに加え、Wi-Fi環境の充実や観光情報の発信力強化など受入体制改善に取り組んでいく。 					
4-③ エネルギー転換に対応した環境産業の創造						
25	新製品・新技術の開発や新分野進出に取り組むと答える企業の割合	58.1% (24年度)	56.0% (25年度)	56.7% (26年度)		75% (34年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 実績値は横ばいで推移しており、製造業、卸売業、情報通信業といった業種において、競争力維持のため、積極的に新製品・新技術の開発や新分野への進出に取り組んでいる割合が高い。 今後とも、本市経済をけん引する重点分野である「食」、「健康・福祉」分野や、本市産業全体の底上げが期待される「ものづくり」分野を対象に継続した支援を行い、新製品・新技術の開発や新分野の進出への機運を高めていく。 					
26	大学発ベンチャー企業数(環境・エネルギー)	21社 (23年度)	【参考】 16社 (24年度)	-		30社 (34年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 北海道経済産業局が毎年実施していた調査であったが、平成26年度の調査(平成25年度末時点)は未実施であり、実績値の把握は出来なかった。 今後とも、環境・エネルギー分野への事業化の支援や、首都圏展示会出展などの支援を行い、札幌発の環境・エネルギー産業の創出につなげていく。 					

テーマ	2	産業・活力				
創造戦略	4	札幌型産業創造戦略 ～新たな価値の創造による産業の高度化～				
「成果指標」 実績値の推移に係る検証と今後の取組		(現状値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	----->	34年度 (目標値)
4-④ 超高齢社会に対応した健康・福祉産業の創造						
27	新製品・新技術の開発や新分野進出に取り組むと答える企業の割合【再掲 創造戦略4 NO. 25】	58.1% (24年度)	56.0% (25年度)	56.7% (26年度)		75% (34年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ・実績値は横ばいで推移しており、製造業、卸売業、情報通信業といった業種において、競争力維持のため、積極的に新製品・新技術の開発や新分野への進出に取り組んでいる割合が高い。 ・今後とも、本市経済をけん引する重点分野である「食」、「健康・福祉」分野や、本市産業全体の底上げが期待される「ものづくり」分野を対象に継続した支援を行い、新製品・新技術の開発や新分野の進出への機運を高めていく。 					
28	バイオ産業の売上高	313億円 (23年度)	332億円 (25年度)	356億円 (26年度)		730億円 (34年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ・実績値は横ばいとなっているが、関係機関が連携した事業展開に加え、フード特区計画の推進に伴い、海外市場を視野に入れた取組が進んでいると考えられる。 ・今後とも、北海道経済産業局をはじめ、各地の経済産業局、北海道、全国のバイオ関連団体等と連携して事業を展開していく。 					